

平成 27 年度町政懇談会記録（要旨）

開催日：平成 27 年 10 月 25 日（日）

開会：午後 1 時 30 分 閉会：午後 3 時 15 分

場所：城山三丁目集会所

参加者：男 15 人、女 8 人 計 23 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課、町民課、政策課

《 懇 談 》

男性

ひとつ聞きたいのは、東員町自体が現在を重点的にみて 1 年ずつ過ごしているのか、10 年先、20 年先をみて、そこから逆算しているのか、5 年前にはこれをやっておかないと、10 年先には到達しないと色々あると思うのです。人口でいえば、今 25 年先を見て、減ることはわかっているので、減るのを防いで多くするにはどうしたらいいだろう、じゃあ 20 年前にはこうしなきゃいけない、10 年前にはこうしなければいけない、5 年前にはこう、現在はこうしなければいけないというようにしていかないと、25 年後にはこの推計どおりになってしまうことがあると思う。じゃあ 25 年先を目指して、もっと計画を高くして人口を減らすのでなく増やすための計画で町は進んでいるのか、それとも現在を生きなければ 25 年先はないのだという考え方で町政は進んでいるのか、その姿勢が変わると町の動きが変わってくると思うのですがどうなのかということと、もうひとつは財政のことで、東員町はふるさと納税が三重県で最低らしいですね。今町長の話でも何か特産品とおっしゃっていましたが、特産品がないとふるさと納税がこないで、他の所は色々やっていますよね。東員町は何もないので、ふるさと納税を増やす政策も必要じゃないのかと思いますし、それと財政で広報 10 月号に決算が載っているとおっしゃってましたよね。予算に関しては議会とか色々な所で討議しますが、決算についての討議はなされているのか、これは余計な所で使っているのではないのかという討議がきちんとなされているのか、よく年度末になると余計な工事が増えるという感覚をみんな持っていると思うんですけど、よく予算使わないと来年度予算がつかないから使うんだという話聞きますよね。

財政が少なくなるならば、会社は経費削減しなさいというのが当然です。必要経費は仕方ないですが、財政が少なくなるのであれば、出て行くものを抑える手立てを町はとっていくべきだと思うんですよ。決算はどこかにいけば住民の人たちが見れますよというのがあれば、それが知りたい、私は見に行きたいです。

最後に、東員町で産湯を使うということは現在あるのですか。東員町で子どもが生まれる場所があるのですか。町外で子どもを生んで町内に連れてきて町内で育ててくれればという話ですよ。東員町に産科があって行き来がすぐできるという状況がないので、臨月で生まれそうな時にすぐ行けるというような体制が必要だと思うんです

よ。東員町で子どもが生まれて子育てもでき、学校も行けてという状況になれば子どもも増えるのではなからうかと思っています。

町長

将来の話ですが、まだ私はできていませんが、100年先を見なければいけないと思っています。大きすぎるかもしれませんが、100年先をみて、そして30年先はどうあるべきか、そしたら今どうあるべきか、ということをやっていないとだめだと思っています。少なくとも20~30年先をみて、そこでこの東員町が単独で残っている。贅沢ではないけれど、ちゃんとみんなが普通の生活ができるということを念頭において、今我々が何をやらなければいけないかを考え、今議論しているという状況にあるということをご理解いただきたいと思います。

あと、ふるさと納税の話ですが、ふるさと納税と特産品作りを分けて考えていただきたい。おっしゃられる通り、東員町は年間ふるさと納税いただくのは、1、2人で年間10、20万程度です。しかし私は、ふるさと納税は日本を滅ぼす悪法だと思っています。これはやめられるものならば、直ちにやめたほうがいい。なぜかという、ふるさと納税は、例えば東京など大都会へ出た子どもが育ったふるさとを思い、東京へ払うお金の一部をふるさとへ寄付するという形で納めるというのが、ふるさと納税のもともとの趣旨です。ところが今どうなっているかという、カタログショッピングになっています。しかも、誰がどこへでも寄付できるわけですから、例えばですよ、「私がAという町へ10万円を寄付したとします。そしてA町から5万円の物をもらったとします。私は10万円納めますけど、9万8千円還ってきます。2千円東員町に納めればあとは返ってくるんですよ。ということは、2千円で5万円のものが買えるんです。」今こういう状態になっています。本来の趣旨とは違い自治体の税収、特に地方の税収は減ります。A町は5万円プラスです。東員町は本来10万円入るところが2千円しか入りませんから、マイナス9万8千円です。トータルマイナス4万8千円です。そのマイナスはどこへいったかという、個人が儲かるわけですよ。これが今のふるさと納税の制度です。ということは、地方の苦しい行政は全部税収が落ちます。これが悪法でなくてなんですか、と私はいいたい。ただし、これは私の意見です。去年総務省の役人にこれを言ったら、流行っていますから、やめない方がいいでしょうといいましたけど。

ただし、特産品は絶対作らなければいけないと思います。特産品を作って売り出さなければいけない。特産品かわからないけど、2年前に上げ馬のミュージカルをやりました。そのときにガトーヴァレというケーキ屋さんで東員浪漫というお菓子ができました。その箱にはミュージカルのポスターがそのまま使われています。我々も外へ出て、お土産を持っていかなければならないときはこれを持って行くようにしています。こういうものが色々ところで出来てくるといいなと思っています。そして、この元になるものを新しい農業で、付加価値のあるものができればと取り組んでいるところです。

それから予算のことですが、おっしゃられる通りです。出るものを何とか少なくし

ていかなければならない。後で説明させていただきますけど、投資的経費はかなり減っているはずですが、それにより皆さんにご迷惑をかけているところもあるかもしれませんが、かなり減らしています。必要性が少ないところは減らし、今福祉関係にもものすごくお金がかかりますので、できるだけやりくりをさせていただいている状況にあります。これはまた財政課長から報告させていただきます。

それから出生率は、東員町は低いです。県平均よりも低いことになっています。産科がないから低いのかというと、それもあるかも知りません。ただし産科のお医者さんは全体的に足りません。産科の医者を東員町に引っ張ってこいといわれるかもしれませんが、なかなか至難の業で、東員町に病院がありませんから、ひっぱってくることもできない。開業医の方に東員町に来ていただくといいねとしかいえません。申し訳ないですけど。ただ、出生率が低いということには、非常に危惧をしています。1.3くらいしかないと思います。なんとか出生率を上げるようにしたいなと思います。

今、子育てするなら東員町へ行けといわれるくらい、子育てに関して東員町が三重県で1番だと私は自負しています。実は東員町へ引っ越していただく若い人、40歳未満の数が平成23年は約580人です。平成24年575人、平成25年643人、平成26年634人。だいたい600人くらいの方に入ってきてもらっています。実は、同じくらいの方が出ていっているんです。ただこの特徴は出て行かれる方はだいたい単身なんです。例えば結婚で出られるとか、転勤で出られるとか単身です。ところが、入ってくる方は7割以上は家を買われて家族で入っている。ある学者さんの理論でいくと、その地域の1%に相当する若い人が入ってくるとその地域は維持できるし若くなっていくという理論があるんです。これでいくと東員町は人口25,000人ですから、600人といえば、2%以上の方が毎年入ってきていただいています。ということは、必ずそのうち若返りの現象が出てくるんだろうなと思っています。

これが私は将来を見据えた政策の一つだと思っておりまして、こういうことを継続していきたいなと思っています。今、空き家調査をやっています。在来地区の方が空き家は多いんです。

今若い人の古民家ブームというのがありまして、できれば空き家で使える家があれば、そこに若い人が入ってくれるといいな、何とか誘導できないかと思っています。産科のお医者さんを何とか考えていかなければならない、これも一つなんです。この小さい町で産科となるとなかなか難しい話です。

将来を見据えて東員町が何をしていかなければならないか真剣に考えさせていただきますし、町民の皆さんと一緒に先々を考えさせていただきたいと思っています。予算の話については財政課長から補足させていただきます。

財政課長

決算につきまして、今日も決算書を持って来ましたが、9月の議会で審議いただき認定をいただく決算書と、行政報告書ということで、160ページ程のどのような事業をしたかということ資料にして議会に提出し見ていただく、手続き上このようになっており、ご指導いただいております。こちらにつきましては、公表しております

ので、財政課の方で見ていただくことができます。さらに広報 10 月号に、決算書と行政報告書の要旨をまとめて 4 ページにわたり載せさせていただいており、インターネットの方でも見ていただけるようにしています。またインターネットで決算書自体が見られるような状況にならないのかと検討いたしております。

予算につきましては、現在 28 年度の予算に取り掛かっていますが、26 年度の決算をもとに不要額がどのようなあたりで出たのかをしっかりと見て予算編成を進めている状況であります。先ほどのご意見に年度末に工事が重なってくるんじゃないかというお話がありましたが、重なってくることはありますが、当初予算に計画した工事、補正予算で計上した工事以外は一切認めていないので、どうしても、年度当初に設計して最後のほうに工事が重なってくるということはありますが、お金が残ったから工事をすることはありませんし、本当に必要なものしか認めていないという状況でございます。したがって、先ほどの繰越金が 6 億 8 千万になってくるわけですが、だからといって年度末に駆け込んでやろうという考え方では進んでいないということをご理解いただきたいと思っております。

さらに公表ができる環境、インターネットなどを使って色々なものを見ていただけるよう進めています。財政上今まではそんなに苦しくなかったわけですが、これからの人口の推計を見ますと非常に苦しくなると推計いたしてございまして、本当にいるものとそうでないものをしっかりと見極める必要があるという認識で新しい予算編成に取り組んでいるところでございます。

男性

最初の計画を長期でみる、100 年で見るというのは、私は町長の考え方で正解だと思います。100 年先くらいみてやっつけていかなければいけないのはそうだと思います。

ふるさと納税に関しては町長の考え方と私の考え方とは違うところがあるので、しょうがないと思います。産科のことも無理だとはわかっているんですけど、東員町としてどういう考えかなと知りたかったので。それとさっき転入転出の話ですが、入ってくる人が若い、出て行く人が単身でということがありましたが、そうすると 7 ページにある 25 年先のピラミッドが町長の話と矛盾するのではないかなと思ったんですけど。これは下が細くなっているでしょう。若い人が入ってくるなら、下のほうは広がってこなければいけないのではないかな、という気持ちでしたんですけど。

町長

広がりはないんですけど、もう少し幅が広がらないかなと期待しています。

男性

ご存知のとおりここ集会所で、年間行事をやっているんですけど、現在のところ一部は除き不具合はなく行事をさせていただいていますが、あと数年後この屋根の天井も老朽化してくることもございます。今財政面であまりいわれるとなかなか難しい面がございまして、リフォームのことも当然考えております。私も自治会として、それなりの貯蓄をしなきゃいけないですが、案としまして、ここの北の方に緑地帯がございまして。

今年度敬老会の75歳以上が120名いるということもございまして、ここも手狭なんですけど、町の方に問い合わせしたところ、城山中央集会所、城山小学校体育館があるじゃないかということでしたが、そこを何とか行政として一部支援いただけないのか、ここを建て替えたほうが安いものか緑地帯をうまく整地してコミュニティーとまではいきませんが、ある程度の予算を考えていただいて何とかできないかなというお願いがあります。それと自治会長会で話がありましたが、自治会で行っている敬老会行事ですが、これは平成24年まで式典がひばりホールであり、参加者が少なく当時は24%と聞いています。今後お年寄りの方が年々増えつつありますが、それぞれ23自治会は皆さん工夫しながらやっている状況ですが、町としてもう一度見直しをされて、もう一度ひばりホールで一斉に集めてやられたほうがいいのかと私個人も思いますので、何とか検討をお願いします。

町長

集会所の件ですが、ここ2、3年自治会長会の皆さんと話し合いをさせていただいて、集会所を建て替えるあるいは補修する時は、こういう名目のお金を町からも出しますと決めさせていただきました。それを使って建て替えや補修をしていただきたい。今年の3月に決まったところですので、それを使ってお考えいただきたいということがまず1点でございます。

それから敬老会行事でございますが、おそらく全体を集めると参加率20%は切ると思います。そういう中で、近隣の市町村を見ても全体でやっているところはありません。敬老行事はその地域のお年寄りをもてなして敬うという精神でやらせていただきますので、できるだけお住まいの近くで、集まりやすい所でやっていただきたいという趣旨でこういう形にさせていただきましたので、その辺はご理解いただいて、できれば自治会でお世話いただくといいかなという話をさせていただいて、3年になりました。不具合があったら微調整はさせていただきますが、できるだけこの方向でやらせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

男性

穴太の駅の南の方に行ったところに蛍の生息所がありますよね。その蛍を多く飼育して東員町を蛍の名所みたいな観光にしたらどうかと思ひまして。そうすると三岐鉄道北勢線も1人2人は増えるのではないかと思います。もうひとつはオレンジバスなんですけど、どこでも「ハイ」と手を挙げたら乗れるようにはできないものでしょうか。

政策課長

今運行させていただいているオレンジバスは、定時定路線として決まったバス停で乗り降りしていただいております。手を挙げて乗るという方式も警察と国土交通省の許しができればいいそうですが、交通の多いところでは手を挙げて停まっていただくことは、警察との協議でなかなかうまくいかないように聞いております。

男性

利用するのは年寄りの人が多いので、家から出て何百mもあるとね、200m間隔で

すか、あのバス停は。

政策課長 そうですね。私どもも、行きは荷物が少ないのでバス停までお願いし、帰りについてはどこか近くで降りていただけないかなと警察とも話しはしていたのですけれども、交通量の問題もございまして、ただ、時代とともに利用者の層も変わってきますので、また協議もさせていただきます。

町長 蛍につきましては、今ネイチャークラブさんとか、町内で活躍されている蛍を飛ばす会みたいな団体もありますので、色々協議させていただき、例えばもっと明かりを暗くしてほしいとか、お話をいただくこともあります。一緒になって蛍が増えるような良い環境を作っていくことを、我々としてはやっていかなければいけないと思っています。その結果、蛍がたくさん飛ぶ環境ができて、そこへ見に来てくれる方が増えればいいなと思っていますのでよろしくをお願いします。

女性 オレンジバスの件ですが、利用させていただいてありがたく思っているのですが、途中で変更されましたよね。以前の時はすごく良かったです、バスに乗っていても 10 人が 10 人、前のほうが良かったねという話しか聞かないです。私もこの間用事があったてカネスエまで行ったのですが、帰りの時間を見たら、4 時 11 分が最終なんです。私は利用しないですが、4 時からサービスタイムがありますけど、それこそ利用しようとしても 4 時 11 分だったら駄目なんですね。私も色々欲しかったんですけど、時間がないですから一つ目的のものだけ買って帰ったんですけど。もう少し時間を延ばしていただけるとか。それと朝便というのがありますよね。朝便に乗って穴太に行ったんですけど、降りるときまで誰も乗ってこないんですね。私一人だったんです。運転手さんに言いましたら、「私たちに言われても困るけど、ほんとに乗る人はおらんなあ」とおっしゃっていましたがもう少し何とかならないですか、またサンシですか、帰りが 2 時間に 1 本しかないんです。私どうしてもお昼までに帰らなければいけなかったんですけど、乗り遅れてしまいまして、三重交通のことが頭になかったですから、オレンジバスに乗っていくかそれとも東員病院のところを歩いて帰ってくるかですが、オレンジバスに乗るとするとカネスエだと思って、荷物を持って走ったんですよ。やっと間に合ったんですけど、もう少し時間的に何とかしていただいたら、皆さん喜んでくれると思います。またサンシが 2 時間に 1 本ですのですごく混むんです。皆さん大きな荷物を持った人が立ちっぱなしで、私は城山なので先におりますが、笹尾の人はずっと行かなきゃいけないのでね。皆さんつり革持って、席にいる人が荷物を持ってあげたりしてやっていますので、もう少し何か考えていただけたらありがたいと思っています。

政策課長 去年の 10 月にルートを見直しさせていただきました、ルート見直しにあたりましては、東員町内にもまったくバスが走っていないところもございましたので、そちら

の方に3台あるバスのうち1台をまわす形をとらせていただいた結果、笹尾・城山地区のサービスが低下したというようなことですが、限られたバスではございますが、何とか在来の方の理解も得つつ、笹尾・城山の方の理解も得られるような方法を模索している途中でございまして、もうしばらくお時間をいただきたいと思っております。

町長 色々な会議、交通会議があつて、そこを経て国へいってと手続きに時間はかかりますが、ご要望はいっぱいありますので、便利になるようにと考えております。

男性 またオレンジバスの件ですけど、行き100円、帰り100円ですが、行きと帰りで100円というのはできないのでしょうか。だんだんお年寄りが多くなって、年金も減っているのですね。

政策課長 バスで年間6千万ほどかかっています。運賃収入としていただいているのが1千万ほど、それが500万減ってくるという話になりますので、何とか料金につきましては、担当としてはもう少しいただけないかなというくらい思っております、申し訳ありませんが、ご理解いただきたい状況でございます。

町長 実はね。お金を上げてもらっても便利にしてほしいと考えている方もみえます。例えば200円に上げさせてもらって、もう少し便利にしていくかという話もしていたところですが、ただそうではなくて、できるだけ便利に使っていただけるような方法でやりたいとは思っておりますが、料金を下げるのは申し訳ないですけど、非常に難しいと思っております。

男性 どの路線でもみんな使ってもらっているのか、空気を乗せて走っているのはいか。

政策課長 新しく在来地区に走らせていただいたところでは、利用がないということもございます。その利用がないところを撤退して利用があるところということも考えております。

男性 回答はいらないので言いたいことだけ言わせていただきます。私は、地域づくりのなかで、いい景観を維持していくことも大切なことだし、地域づくりにもつながると思っています。先日城山球場の方で小学生の女子ソフトボール大会があったんですけど、岡崎市からも来ていたとかも聞きました。前から気になっていましたが、倉庫の前に自転車だとか放置物が山になって置いてあるのです。誰が管理しているのか、色々な所から人が集まる場所なので、きれいにされたらいいかと思っております。

もうひとつは、給水塔がありますよね。そこに行く道路を、夏に入るくらいに草刈をされたんです。山側の所をきれいにされたんですが、中学校寄りに歩道があるんで

すが、歩道が何もされてないので、何でこんな仕事をされるのかなと、これは何か地域の管理の区分けがあるのかなと思いついて見ているのですが、一回で済ませればいいのと思ったのですが。

町長

その通りですね。調べさせていただき、対処させていただきます。